

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-210	22-016	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption is associated with excessive risk of multiple sclerosis: a meta-analysis observational study アルコール摂取と多発性硬化症リスクとの関連：観察研究のメタ分析		
執筆者		
Haoyou Xu, Lijun Qiao, Supeng Fang, Zhanneng Ren, Guangliang Wu, Yu Zheng, Biying Yang, Yuanqi Zhao		
掲載誌		
Sao Paulo MedJ. 2022 Jul-Aug;140(4):518-524. doi: 10.1590/1516-3180.2021.0075.R1.14092021.		
キーワード		PMID
アルコール摂取、多発性硬化症、メタ分析、精神神経免疫学		35674609
要 旨		
<p>目的：アルコール摂取と多発性硬化症のリスクとの関連について、既報では結果が一致していない。本研究では、メタ分析により、多発性硬化症のリスクに対するアルコール摂取の影響を評価した。</p> <p>方法：PubMed、EMBASE、およびコクランライブラリーの電子データベースを用い、2020年1月までに発表されたアルコール摂取と多発性硬化症に関する論文を検索した。ランダム効果モデルを使用し、アルコール摂取と多発性硬化症の関連について、統合オッズ比(OR)および95%信頼区間(CI)を算出した。サブグループ分析は研究デザイン、性別、アルコールの種類、研究の質で分けて行った。</p> <p>結果：合計211,396人の対象者と10,407例の多発性硬化症を含む9研究（前向きコホート研究1つ、症例対照研究8つ）を最終的なメタ分析の対象とした。統合したデータからは、アルコール摂取と多発性硬化症のリスクとの間に有意な関連性は見られなかった(OR: 0.94; 95% CI: 0.73-1.22; P=0.668)。アルコールの種類（蒸留酒、ビール、ワイン）別の検討では、ビール摂取が多発性硬化症リスクと正に関連した (OR: 1.58; 95% CI: 1.12-2.23; P = 0.010)。</p> <p>結論：この研究では、ビール摂取が多発性硬化症リスクと正に関連する可能性が示された。この結論を検証するために、さらに大規模な前向き研究を実施する必要がある。</p>		